

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公開番号】特開 2018-15526 (P2018-15526A)

【公開日】平成 30 年 2 月 1 日 (2018.2.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-004

【出願番号】特願 2017-26539 (P2017-26539)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 26 日 (2019.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口への遊技球の入球に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、
前記識別情報が特定態様で停止表示したことに基づいて特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

開放することで遊技球が入球可能となる可変入球口と、

前記可変入球口に入球した遊技球が所定の特定領域を通過したことに基づいて所定の特典を付与する特典付与手段と、

前記特別遊技中の所定期間に前記可変入球口を開放させ、前記特定領域への遊技球の通過有無に基づいて前記特典を付与するか否かが決定される特典決定遊技を実行する特典決定遊技実行手段と、

所定の動作態様で動作することにより、前記可変入球口に入球した遊技球を前記特定領域に誘導可能な可動部材と、

前記可変入球口に入球した遊技球を検知可能な遊技球検知手段と、

前記遊技球検知手段により検知された遊技球の数を計数する計数手段と、

前記特定領域への遊技球の通過を有効とする有効期間を設定可能な有効期間設定手段と、
を備え、

前記特典付与手段は、前記有効期間中に遊技球が前記特定領域を通過したことに基づいて前記特典を付与するものであり、

前記所定の動作態様として、少なくとも第 1 動作態様と第 2 動作態様とを有し、

前記可動部材は、前記特典決定遊技での前記計数手段による計数値に基づいて動作可能であって、該計数値が所定の第 1 計数値となったことに基づいて動作する場合には前記第 1 動作態様で動作可能であり、該計数値が前記第 1 計数値よりも大きい第 2 計数値となったことに基づいて動作する場合には前記第 2 動作態様で動作可能であり、

前記可動部材が前記第 1 動作態様で動作する場合には、前記第 2 動作態様で動作する場合に比べ、前記特定領域への遊技球の通過可能性が低く、

前記有効期間設定手段は、前記特典決定遊技中に前記有効期間を設定可能であって、少なくとも前記計数手段による計数値が前記第 1 計数値となったことに起因して前記有効期間を設定可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前述の課題を解決するために、本発明は以下の構成を採用した。

すなわち、本発明の遊技機は、

始動口への遊技球の入球に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、

前記識別情報が特定態様で停止表示したことに基づいて特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

開放することで遊技球が入球可能となる可変入球口と、

前記可変入球口に入球した遊技球が所定の特定領域を通過したことに基づいて所定の特典を付与する特典付与手段と、

前記特別遊技中の所定期間に前記可変入球口を開放させ、前記特定領域への遊技球の通過有無に基づいて前記特典を付与するか否かが決定される特典決定遊技を実行する特典決定遊技実行手段と、

所定の動作態様で動作することにより、前記可変入球口に入球した遊技球を前記特定領域に誘導可能な可動部材と、

前記可変入球口に入球した遊技球を検知可能な遊技球検知手段と、

前記遊技球検知手段により検知された遊技球の数を計数する計数手段と、

前記特定領域への遊技球の通過を有効とする有効期間を設定可能な有効期間設定手段と、
を備え、

前記特典付与手段は、前記有効期間中に遊技球が前記特定領域を通過したことに基づいて前記特典を付与するものであり、

前記所定の動作態様として、少なくとも第1動作態様と第2動作態様とを有し、

前記可動部材は、前記特典決定遊技での前記計数手段による計数値に基づいて動作可能であって、該計数値が所定の第1計数値となったことに基づいて動作する場合には前記第1動作態様で動作可能であり、該計数値が前記第1計数値よりも大きい第2計数値となったことに基づいて動作する場合には前記第2動作態様で動作可能であり、

前記可動部材が前記第1動作態様で動作する場合には、前記第2動作態様で動作する場合に比べ、前記特定領域への遊技球の通過可能性が低く、

前記有効期間設定手段は、前記特典決定遊技中に前記有効期間を設定可能であって、少なくとも前記計数手段による計数値が前記第1計数値となったことに起因して前記有効期間を設定可能である

ことを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、第1発明の遊技機は、

始動口への遊技球の入球に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、

前記識別情報が特定態様で停止表示したことに基づいて特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

開放することで遊技球が入球可能となる可変入球口と、

前記可変入球口に入球した遊技球の少なくとも1個が特定領域を通過したことに基づいて所定の特典を付与する特典付与手段と、

前記特別遊技中の所定期間に前記可変入球口を開放させ、前記特定領域への遊技球の通過有無に基づいて前記特典を付与するか否かが決定される特典決定遊技を実行する特典決定遊技実行手段と、

前記可変入球口に入球した遊技球を検知可能な遊技球検知手段と、

前記遊技球検知手段により検知された遊技球の数を計数する計数手段と、
を備え、

前記遊技球検知手段により検知された遊技球は、前記特定領域または前記特定領域以外の領域を通過するもので、

前記特典決定遊技での前記計数手段による計数値によって、前記特定領域への遊技球の通過可能性が変化し得る

ことを特徴としている。

第1発明の遊技機では、特典決定遊技の際に遊技球が可変入球口に入球すると、その遊技球は遊技球検知手段により検知された後、特定領域または特定領域以外の領域（非特定領域）を通過することとなる。そして、遊技球検知手段により検知された遊技球の数、すなわち、可変入球口に入球した遊技球の数が計数手段によって計数され、その計数値によって、特定領域への遊技球の通過可能性が変化し得るものとなっている。これにより、例えば、「可変入球口に入球した遊技球がどのタイミングで特定領域を通過し得るのか」や「遊技球が特定領域を通過したか否か」等、特典決定遊技での遊技球の特定領域通過状況を判別し難くすることが可能となる。